

## 令和元年度商店街サポーター創出・活動支援事業成果発表会 質疑応答

### ■ 株式会社ナガト

評価：高齢者や健康に焦点を当てた、社会状況に沿った取組み。ウォーキングイベントでは、景品に商店街のお買物券を採用したことにより商店街内での消費に繋がるなど、商店街との連携は評価できる。

Q：事業の目標であった健康促進事業への参加者の確保はどうだったか。

A：当初チラシ配布だけでは参加者は2人程度でしたが、健康測定会で運動教室のPRを行った結果、新規から継続的な参加がみられるようになり、安定して6～8人の参加申込が来るようになりました。

Q：解決すべき課題であった既存来街者の維持と新たな来街者の増加についてはどうか。

A：既存来街者については、健康運動教室に継続的に参加してくれている参加者の出現と、健康測定会に複数回参加している参加者がいることから、一定維持されていると思われます。

また、新たな来街者については、健康体操教室の参加者が友人を誘って参加する等、普段は大利商店街を利用していない方の来街や、ウォーキングイベントでは、駅までの通り道として商店街を通過するだけだった方も、景品で獲得した商品券を商店街内で使用する等、新規顧客の獲得に一定成果があったと思います。

Q：講師を招いた定期的なイベント開催がメインとなる取組みかと思われるが、資金計画等も含めて、次年度以降の取組み予定はどのようになっているか。

A：健康体操教室については、商店街の事業として継続実施するため、会場費は不要になります。講師については、いずれシニアボランティアに行っていただく予定ですが、それまでは、(株)ナガトのスタッフが実施します。講師代は参加費(@500×6～8人)から支出します。参加申込は安定的に各回6人程度あるので、参加費も一定集まっている状態です。

また、健康プロジェクト基金として、他事業者が月2回開催する骨密度測定での会場費(@¥5,000×2回分)の10%を積み立てていきます。

座学教室については、商店街会員に講師を依頼し、まちゼミ形式での継続実施を予定しています。健康測定会も年2回程度開催します。